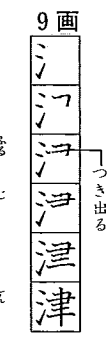
津

9画



おん シン　くん つ

なりたち 古い字は津。進の意味を仮借した聿と、河の意味のシ（さんずい）との形声字。河を渡り進むための〝舟の渡し場〟を表した字。〝渡船場（渡し）・船着き場・港・岸〟のこと。

いみとじゅくご ▼渡し場。船着き場。港。岸。津津浦浦…全国至る所。もとは「全国至る所の港や浦」の意味。

津波…地震や台風の影響で発生し、海岸に押し寄せて来る大きな波。特に港の被害が大きいので、こう言う。

▼にじみ出る。

津津…ものがあふれ出る様子。例興味津々（興味が次々にわいて尽きない。）

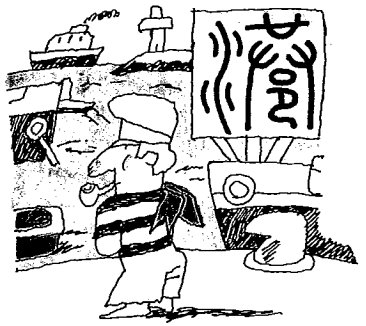
港

【3年】

12画

おん コウ　くん みなと

なりたち 古い字は港。邑里（ゆう）（町や村）の公共の道の意味の巷と、シ（さんずい）との会意形声字。船の通る道、という意味の字。転じて、〝船の泊まる所・船着き場〟のこと。



いみとじゅくご ▼港。船着き場。港湾…船の出入りや停泊、船客の乗り降り、貨物の積みおろしなどの設備のある水域。例港湾施設

漁港…漁船が根拠地とし、魚などを陸揚げする港。

軍港…海軍の根拠地となる港。

貿易港…貿易船が出入りし、商品の積みおろしや売買が行われる港。

空港…飛行機が発着する所。

母港…その船が根拠地としている港。

不凍港…寒い地方にありながら、冬も海面が凍らない港。

築港…港を築くこと。船が停泊できるような設備を施すこと。また、そういう港。

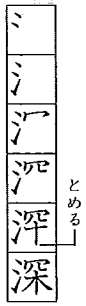
入港…船が港に入ること。反出港

よみかた 港町・開港・要港

深

【3年】

11画



おん シン　くん ふかい・ふかまる・ふかめる

なりたち 古い字形は濙で、火（灯し火）を手にした形の夾と穴とで、灯し火をつけなければ見えない程深い穴を表した字と、シ（さんずい）との会意形声字。水の深いことを表した字。転じて、物事の程度の〝甚だしい〟意味を表すのに用いる。

いみとじゅくご ▼深い。水が深い。深海…深い海。例深海魚

水深…水面から底までの深さ。

▼奥深い。

深林…奥深い森林。

深山…奥深い山。例深山幽谷

深奥…❶奥深いこと。用例深奥な哲学。❷奥底。用例芸術の深奥を極める。

▼底が深い。含みがある。

深意…深い意味。

深慮…深い考え。例深慮遠謀

▼濃い。

深緑…濃い緑。

深紅…濃い紅。真っ赤。

▼たけなわ。真っ盛り。

深更…夜更け。深夜。用例会談は深更に及んだ。

▼程度が甚だしい。

深手…重傷。深い手傷。

よみかた 深遠・深刻・深長・深度・深夜・深入り

浅

【4年】

9画

おん セン　くん あさい

なりたち 旧字体は淺。錢や賤や桟などの戔（んせ）（わずかの意味）とシ（さんずい）との会意形声字。〝わずかな水〟という意味の字で、水の〝あさい〟ことを表した字。転じて、物事の程度の低く、劣っている意味に用いられる。

いみとじゅくご ▼浅い。水が浅い。

深浅…❶深いことと浅いこと。❷濃いこととうすいこと。

浅瀬…水の浅い所。

遠浅…岸からずっと遠くの方まで、水が浅いこと。また、そういう所。

▼底が浅い。深味が無い。

浅薄…学問や思慮が深くなく、浅はかなこと。

浅慮…浅い考え。用例浅慮の至り。（考えが大変浅い。）

浅見…浅はかな意見。

▼色が薄い。

浅緑…薄い緑。

浅紅…浅い紅。ピンク。

▼程度が軽い。

浅手…軽傷。浅い手傷。

よみかた 浅海・浅学・浅才